

- プロジェクト : 夜間の未来を変えようプロジェクト  
名称 ~夜間だから…、ではなく夜間だからこそ!!~
- 代表者氏名 : 行政政策学類 現代教養コース 3年 穂苅翼
- 構成員 : 人間発達学類生 (現代教養) 2名  
行政政策学類生 (現代教養) 5名 (事業採択時は3名)
- 事業の概要 : 実施団体である夜間主学生団体 **compass** として、通常に行っている福島大学の特に『現代教養 (夜間学部)』の大学生生活活性化を目的にした交流会を運営実施するとともに、今回学内への『周知』をテーマにした以下3事業を行った。

### ①compass のパンフレット制作

ターゲット層である《「何かしたいけど何をしたらいいかわからない」「将来に漠然とした不安がある」人が、周りを見渡した時に **compass** がある。》という身近にある大学生生活を充実させるための一つの選択肢としての理解を学内に『周知』させる必要があると考えた。

### ②『キャンパスライフ活性化活動』を集めた掲示板を設置

**compass** だけでなく、学内にある様々な意義のある活動 (主に自発的 student 団体) を集めた「身近にあって誰もが気軽に見ることができる掲示板」という新たな情報発信媒体を設けることで、学生個人の大学生生活を充実させる為の選択肢に触れる機会を量的に増やした。

大学内の学生生活の情報が身近に聞こえてこない夜間の学生にとっても、大学生生活の可能性を大幅に拓げる効果を期待。

⇒2013年12月中旬から【きっかけ掲示板】としてS棟一階に現在5つの活動内容を掲載し、自作評価シートでは32名がこのような場所が必要だと評価されている。

### ③現代教養学生実態調査アンケートの実施

ゼミ等で現代教養学生の実態調査アンケートを実施した。学生個人が自身の大学生生活を見つめなおす機会としての啓発的な効果と、調査結果をHPや掲示板などオープンな形で公表することで、大学自体の課題や学生のニーズを拾う機会をつくった。 ※調査内容と結果は5ページから掲載

- 主な事業日程 : 6月30日 春交流会『compass Hiking Adventure』実施  
 (採択期間 6月 7月20日 第五回かたりば  
 ~) 9月21~22日 夏交流会『compass Summer Adventure』実施  
 10月26日 秋交流会『compass 一周年ハロウィンパーティー』実施  
 11月2~3日 福島大学祭一般公開ブースにて活動紹介  
 12月16~20日 現代教養学生実態調査アンケート実施  
 12月中旬~ きっかけ掲示板設置  
 12月下旬~ パンフレット発注 (2014年1月納品)

- 広報活動 : ホームページ、SNS (Facebook、twitter)、学内広報 (口頭、ビラ、きっかけ掲示板)

## ■事業効果

(定量的効果)

### ①compass 企画の参加者 (や運営メンバー) が増えた。

=夜間学生でも積極的に学生活動を行える場所があるということへの認知が広がっている。

- ・6月以降の compass 企画初参加者 14名増 (内58%の人が複数回参加)
- ・運営メンバー2名増 (6名⇒8名)  
 ※増加メンバー2名はライフサポーターメンバー

### ②事業“②” 学生活動を集めた掲示板 (きっかけ掲示板) にて、

『このような場所は必要だと思いますか?』という評価シートでYES 32票、NO5票

※12月6日現在 ※期間 12月20~1月6日

(定性的効果)

※夜間主学生実態調査アンケートを根拠に考察

### ①活動全体を通して、福島大学の特に『現代教養 (夜間学部)』の大学生活活性化に貢献できた。

- ・パンフレットなどの広報活動で、夜間学生の新たな活動の幅 (大学生活を充実したものにするための選択肢) を広げた
- ・きっかけ掲示板で、学生個人が自分と向き合い自らを磨ける環境をつくれた
- ・夜間主コース実態調査で、学生が自らの学生生活を客観的に振り返れる機会をつくった
- ・学生生活を彩る沢山の出会いと思い出の絶対量が増えた

## ■今後の展望

『周知』をテーマにして事業を行ってきて、機会（チャンス）をつくってはいても、まだまだ情報の受け取り環境が整っていないように思う（知らない人も半分近くいることから）。活動を一番価値あるもの（効果的なもの）にするためには、どの程度の認知度が必要なのかなど、活動への具体的な目標を作り、私たちが発信する情報とその受け手との接点をもう一度見直して、受け手が活動詳細を理解した上でその人にとって価値ある情報か否かの判断できる周知レベルまで工夫したい。

また、運営を行う現役学生の目線からだけでなく、社会人学生層の目線からの活動参加への付加価値を見出した積極的にPRしていくことで、夜間学部の特色（強み）を生かしたより意義ある運営を行いたい。そして、新たな夜間を築く担い手の育成に力を入れて、夜間学部にとって当たり前にあるべき組織としての位置付けまで成長したい。

## ■活動の様子



# ■成果物

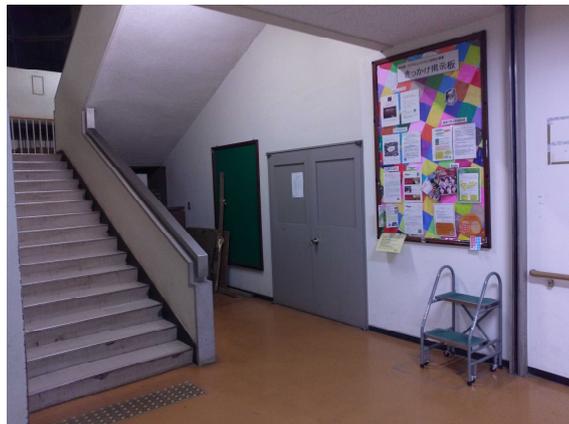
## ↓事業①

【パンフレット】



## ↓事業②

【きっかけ掲示板】



# ■アンケート調査結果

- (調査日) : 平成 25 年 12 月 16 日 (月) ~20 日 (金)
  - (回答者数) : 103 名
  - (対象) : 現代教養学生 合計 103 名
  - (内訳) : 1 年…39 名、2 年…40 名、3 年…22 名、4 年…2 名
- ※ゼミごとにアンケートを行った為、当日の欠席者は除く。

## 夜間主コース実態調査

こんばんは。

今回は学生課主催の「キャンパスライフ活性化事業」におきまして、「夜間主実態調査」と称し、

現代教養コースの皆様の実態を知るために、アンケートを実施させていただきたいと思っております。

なお、集めさせていただいた皆様のご意見は、皆様の大学生活がよりよいものになるよう、活用させていただきます。

皆様にもご意見をまとめたものを公表致します。

5分も掛からない簡単なアンケートです。どうぞご協力お願い致します。

### ◆学年・性別・年齢・所属モデルにあてはまるものに○をつけてください。

【学年】 1年・2年・3年・4年・その他（ ）

【性別】 男性・女性

【年齢】 10代・20代・30代・40代・50代・60代～

【所属モデル】 文化教養・コミュニティ共生・法政策・ビジネス探求

### ◆以下の質問に対し、「はい」か「いいえ」に○を付けてください。

設問がある場合は指示に従ってください。

Q1	あなたは職についていますか。(アルバイトも可)	はい・いいえ
Q2	Q1で「はい」と答えた方 →1週間の労働時間を教えてください。(約 時間)	
Q3	夜間主コース内で、学年を超えて親しく話せる人はいますか。	はい・いいえ
Q4	Q3で「はい」と答えた方 →それは何人くらいですか。(約 人)	
Q5	夜間主コースで、幅広い年代の人と関わっている実感はありますか。	はい・いいえ
Q6	昼間学生と何らかの関わりがありますか。	はい・いいえ
Q7	Q6で「はい」と答えた方 →知り合ったきっかけを教えてください。( )	
Q8	サークルや学生団体といった大学での活動に参加していますか。	はい・いいえ
Q9	Q8で「はい」と答えた方 →団体名を教えてください。( )	
Q10	夜間主に学生団体があることを知っていますか。	はい・いいえ
Q11	Q10で「はい」と答えた方 →その団体名を教えてください。( )	

裏面自由回答に続く

◆あなたが夜間主コースを志望したきっかけを教えてください。

--

◆あなたが思う「夜間主学生」であることのメリット・デメリットを教えてください。

メリット
------

デメリット
-------

◆夜間主コースの学生として、大学に対して抱く要望があればご自由にお書きください。

例) 教務課や学生課の受付時間が短い! など…

--

アンケートのご記入、お疲れ様でした。

お寄せいただいた貴重なご意見は、皆様の今後の学生生活が少しでも良いものになるように活用させていただきます。

ご協力、本当にありがとうございました。

主催：学生課

企画：夜間主学生団体 compass

## ■夜間主コース学生実態調査アンケート集計結果

- (調査日) : 平成 25 年 12 月 16 日 (月) ~ 20 日 (金)  
(回答者数) : 103 名  
(対象) : 現代教養学生 合計 103 名  
(内訳) : 1 年…39 名、2 年…40 名、3 年…22 名、4 年…2 名  
※ゼミごとにアンケートを行った為、当日の欠席者は除く。

Q1 あなたは職についていますか。(アルバイトも可)

- ・はい 99 名
- ・いいえ 4 名

Q2 Q1 で「はい」と答えた方

→1 週間の労働時間を教えてください。

平均 26.7 時間 (少ない人で 3 時間、多い人で 51 時間)

Q3 夜間主コース内で、学年を超えて親しく話せる人はいますか。

- ・はい 62 名
- ・いいえ 37 名
- ・無回答 4 名

Q4 Q3 で「はい」と答えた方

→それは何人くらいですか。

平均 1 人あたり約 6 人 (少ない人で 1 人、多い人で 100 人)

Q5 夜間主コースで、幅広い年代の人と関わっている実感はありますか。

- ・はい 92 名
- ・いいえ 9 名
- ・無回答 2 名

Q6 昼間学生と何らかの関わりがありますか。

- ・はい 57 名
- ・いいえ 46 名

Q7 Q6 で「はい」と答えた方

→知り合ったきっかけを教えてください。

- ・サークル ・友達の友達 ・地元が同じ ・趣味 ・学生団体 ・アルバイト先が同じ
- ・家族の友人 ・合新 ・昼間の授業が同じ ・小学校、中学校、高校が同じ
- ・イベント ・住んでいる場所が近い ・寮生 ・ゼミ ・就職活動 ・compass ・就活講座

Q8 サークルや学生団体といった大学での活動に参加していますか。

- ・はい 32名
- ・いいえ 67名
- ・無回答 4名

Q9 Q8で「はい」と答えた方 →団体名を教えてください。

- ・ソフトテニス部 ・ハートフル☆スタジオ ・写真部 ・準硬式野球部
- ・夜間主バレー ・行政バレー ・放送 ・compass ・スタ☆ふく
- ・夜間主バスケットボール ・空手道部 ・演劇研究会

Q10 夜間主に学生団体があることを知っていますか。

- ・はい 49名
- ・いいえ 52名
- ・無回答 2名

Q11 Q10で「はい」と答えた方 →その団体名を教えてください。

- ・compass
- ・ライフサポーター
- ・剣道
- ・卓球

◆あなたが夜間主コースを志望したきっかけを教えてください。

- ・働きながら学べる
- ・知的な女性になるため
- ・経済的理由
- ・働いているため夜しか勉強できない
- ・家庭事情
- ・働かざるを得ない状況でも学びたかった
- ・視野を広げたい
- ・学費が昼間の半分
- ・昼間はアルバイトをしたい
- ・知識を仕事に生かしたい
- ・未来のため
- ・兄が通っていたため影響を受けた
- ・夜間でも国立大学
- ・自分で学費を負担しながら自立した人間になるため
- ・大学進学を決めたのが遅くここしかなかった
- ・自分で働いたお金で大学に通いたかった
- ・教養を深めたかった

- ・働くことも学ぶことも重視したかった
- ・教養が足りず社会についていけなくなった
- ・キャリアアップ
- ・様々な職業、年代の人と関わり、新しいことを学びたかった
- ・高校の先生の薦め
- ・地域社会コミュニティについて学びたかった
- ・大学生活への興味
- ・昼間の入学が難しかった
- ・アルバイトと両立しやすい
- ・東日本大震災を経験し、何もしないまま死にたくないと思った
- ・センターの申し込みが終わっていた
- ・仕事と勉学の両立で実践力、忍耐力を身に付けられると思った
- ・多角的な視点で物事を案が得られるようになりたかった
- ・白石豊先生の授業を受けてみたかった
- ・大卒になりたかった
- ・昼間の授業を含め、幅広く様々な学部の授業を取れる
- ・ここしか入れなかった
- ・家庭にあまり負担を掛けずに済む
- ・実家から通える範囲で選択
- ・第一志望に落ちてしまった
- ・先輩がいたから
- ・目指す資格があった

◆あなたが思う「夜間主学生」であることのメリット・デメリットを教えてください。

#### メリット

- ・幅広い人と交流ができる
- ・社会人と関われる
- ・昼間と比べて授業料が安い
- ・昼間の授業も取れる
- ・卒業後「夜間卒」とはならない
- ・昼間と同じ扱いが受けられる
- ・アルバイトがしやすい
- ・自分に費やす時間が多い
- ・たくさんの興味ある分野に視野を広げられる
- ・アルバイト、仕事と両立できる
- ・情報交換ができる
- ・夜間主コース独自のプログラムで行なわれている
- ・電車に乗る時間が長いので復習ができる

- ・フルタイムで働ける
- ・貯金ができる
- ・社会人に近い生活できる
- ・自分の将来のビジョンが描ける
- ・身近に仕事の話を知ることが出来る
- ・夜間は単位がとりやすい
- ・仕事の人がかわいがってくれる
- ・おじさん、おばさんと関われる
- ・若い女の子と仲良くなれる
- ・人生的に楽しい
- ・世間とのパイプがある
- ・学割が使える
- ・長期履修が可能である
- ・明利張りのある学習体制
- ・授業選択の幅が狭く、一点集中できる

#### デメリット

- ・時間がない
- ・学校行事に参加しにくい
- ・ゼミの選択が少ない
- ・生活が不規則
- ・昼間しかやっていないイベントに参加できない
- ・いい授業がない
- ・帰りが遅くなる
- ・昼間の学生との関わりがない
- ・就寝が遅くなる
- ・奨学金の申請などがあると、二度学校に来なければいけない
- ・学ぶ時間が少ない
- ・1 Semesterで取得できる単位数が少ない
- ・仕事でどうしても出席できない時の代替がない（仕方ないとは思っている）
- ・踏み込んだ授業が少ない
- ・バイトに時間を取られ、サークル活動に参加できない
- ・非常に疲れる
- ・大学全体で見た時のアウェー感が否めない
- ・美女が少ない
- ・家で学習する時間が作れないため試験が不安
- ・時間に間に合わない
- ・授業科目とコマ数の制限がある
- ・友人と学内で話す時間が少ない

- ・存在感が薄い
- ・大学内の情報が入ってこない
- ・飲み会が開きにくく、人も集まらない
- ・睡魔と言う魔物が襲ってくる
- ・キャンパスライフのイメージが遠い（フリーターの様）
- ・行政モデルしか昼間のゼミに行けない
- ・学生生活ではないみたい
- ・自発的に動くのがかっこよくない雰囲気がある
- ・入れないサークルがある
- ・資格が取りづらい
- ・とにかく忙しい
- ・夕食のタイミングがつかみにくい

◆夜間主コースの学生として、大学に対して抱く要望があればご自由にお書きください。

- ・昼間の授業の選択を増やしてほしい
- ・集中講義の受付時間を後期にも欲しい、今ではわかりにくい
- ・学食をもっと遅くまで営業してほしい
- ・学食で余ったものを販売してほしい
- ・学生課は17時以降もやるべき！
- ・学生課の受付時間は夜間学生に優しくない
- ・特定の曜日だけでも学生課の受付時間を延ばしてほしい
- ・学生課が学生に言っていることとじぶんたちがやっていることがちぐはぐな時がある
- ・学生課の高圧的な態度に腹が立つことがある
- ・学生課の人の態度が冷たい
- ・教務課の受付時間を延ばしてほしい
- ・就職支援室の夜の相談日を増やしてほしい
- ・7限後も図書館をゆっくり使いたい
- ・昼の入講所の届け出は4月だけでは厳しいので随時受け付けてほしい
- ・昼間の授業を取ると車が入れない、夜間の学生はいつでも入れるようにしてほしい
- ・3, 4年になると、学びたい授業がなくなってしまうので、授業を増やしてほしい
- ・体育で汗をかき、7限を受けて風邪をひいている人がいた
- ・体育の後は次の授業に間に合わない
- ・集まり、提出物が厳しい
- ・ベースが昼間の学生になっており、時間が合わない
- ・喫煙所の設置
- ・世の中が禁煙だからと言って安易に禁煙にするのはおかしい、分煙にすべき
- ・レポート締切が17時まで、駐車場が17時からなので間に合わない、1時間早めてほしい
- ・駐車場が少ない

- ・昼間駐車場に入れないのでなんとかしてください
- ・昼間と交流を持ちたい、学生交流会など開いてほしい
- ・夜間向けのサークルがほしい
- ・土曜日の授業をなくしてほしい
- ・土曜日の科目数を増やしてほしい
- ・暖房を切らないでほしい（土曜日）
- ・奨学金の説明を夜にもやってほしい
- ・夜になると生協の食べ物（おにぎり、パンなど）が少なくなっている
- ・社会人向けであるが、ゼミ活動など参加しにくい
- ・「社会人の学び場」と案内にはあるがあまり実感できない
- ・必修科目を7限にしてほしい
- ・土曜日、日曜日もIPCを開いてほしい
- ・学生が急に具合が悪くなった時の対応をしっかりとっておいてほしい
- ・7限終わりまでイルミネーションつけておいてほしい
- ・先生の中には「遅刻現金、遅刻はもはや欠席」というひとがいるが、それなら社会人は通えないと不満に思った。そんな大学は社会人入試をなくすべき。
- ・出席日数で評価を決めないでほしい
- ・行政モデルしか昼のゼミを取れないのは不公平
- ・夜間主であることをふまえてレポートの提出期限、授業内容を考えてほしい
- ・授業の開始時間を15分遅らせてほしい
- ・夕御飯を食べる時間が少ない
- ・夜間主の学生を大切にしていない気がする昼間の学生と同じと考えるしないでほしい

以上

●文責：現代教養2年 佐藤玲奈

○主催：学生課（H25 キャンパスライフ活性化事業）

●企画：夜間の未来を変えようプロジェクト

～夜間だから…ではなく、夜間だからこそ!!～

（実質実施団体：夜間主学生団体 compass）